

とちぎ地域おこし協力隊 まるごとプラットフォーム 令和7年度 活動報告

栃木県地域振興課 地域づくり支援担当

とちぎ地域おこし協力隊まるごとプラットフォームとは？

<目的>

市町の域を超えた隊員同士のゆるやかなつながりを作ることで、地域協力活動の充実と定住・定着を図る。

<組織概要>

創設：令和6年7月

組織：県が招集する会議体

内容：①全体会▶年2回（年度当初・年度末）

②グループ活動▶通年（6月～2月ごろ）

備考

- ・PFへの参加は任意で、参加隊員は会員名簿に記載。
- ・会員は原則として①全体会へ参加し、更に希望者は②グループ活動へ参加。グループはテーマ別に設定し、メンバーで活動内容を企画・実施。

※グループメンバーは年度切替。年度途中参加も可能。

※PFにおける活動は隊員の研修と位置づけ、ミッションにかかわらず多様な活動を行う。

目次

01	全体会	03
02	交流会	05
03	イベント企画	07
04	情報共有ツール	09
05	移住定住・空き家	11
06	農林業	13
07	観光・シティプロモーション	16

01 全体会

会員が一堂に会する全体会を年2回開催し、年度当初にはグループ活動開始にあたっての顔合わせ、年度末にはグループ活動の報告会などを行いました！

第1回全体会（R7.5.30）

ファシリテーターからの挨拶から始まり、とちおこプラットフォームの参加隊員同士で自己紹介を行った後、県から制度説明を行いました。



後半は、グループごとに分かれて今年度の活動計画の検討を行いました！初対面の隊員同士も多くいましたが、スムーズに話し合いが進み、役割分担やスケジュールなどを決められました☀



第2回全体会（R8.2.20）

R7年度に活動した6グループから、活動内容や成果、次年度に向けた検討事項などを発表しました。

様々な活動からそれぞれのミッションや退任後に役立つ知見が得られ、関係性構築や人脈づくりにもつながりました！



活動発表の後は、今年度の反省や振り返り、次年度の活動でやってみたいことを活動グループとは異なるメンバーで意見交換しました。



今年度で退任するメンバーもあり、最後の集まる機会となりました。

経験者として引き続きよろしくお祈いします！



最後は栃木のTポーズで集合写真

02 交流会

目的

- ・ 隊員同士の活動内容の共有・情報交換
- ・ 活動における課題や悩みに対する解決策の提案・搜索
- ・ 隊員や経験者の活動や地域の魅力を知る

メンバー

鹿沼市	保坂 朱音	文化芸術普及活動、制作活動
矢板市	福田 麗	ふるさと支援センターTAKIBIの運営
那須塩原市	蛭田 結衣	観光資源の魅力発信・PR
那須町	伊東 可奈	空き家対策・活用促進、移住支援

活動内容

<視察交流会>

自分の市町以外の地域の魅力や活動を知るとともに、意見交換等により隊員同士の交流を深めることを目的に、県内視察を行いました！

・ 宇都宮市視察 R7.9.10

内容：（一社）釜川から育む会の取組紹介・まちあるき・
矢板市協力隊経験者 手塚氏との交流

参加：隊員12名



・鹿沼市視察 R7.11.19

内容：AWANO夢咲くARTFESTIVALの見学・kanuma commonsの視察・視察を踏まえた意見交換

参加：隊員16名

<自分PR交流会> R7.12.22

自分の活動の振り返りを行い、現役隊員や経験者からのアドバイスなどにより課題解決やステップアップにつなげることを目的に、交流会を行いました！

内容：隊員が自身の活動や退任後のビジョンについて発表
発表内容に対して参加者と意見交換・壁打ち

参加：隊員17名、経験者8名



成果・反省

<成果>

- ・現役隊員や経験者を巻き込む「顔の見える関係性」を構築することができた。

<反省・次年度に向けた検討>

- ・活動後のフィードバック等の時間が不足し、より深い意見交換をもっとすべきだった。
- ・隊員同士の活動内容やそれに対する具体的なアドバイスができる、自己PRの機会を継続していきたい。



03 イベント企画

目的

開催日

- ・地域おこし協力隊の認知度向上
- ・隊員の任期後活動への経験蓄積



メンバー

鹿沼市	保坂 朱音	文化芸術普及活動、制作活動
那須烏山市	大嶋 英治	なすからブランド推進
野木町	鮫ノ口 いくみ	移住定住・空き家の利活用
塩谷町	廣井 大輔	スプレーマム農業研修
那須町	上原 淳	現場伴走型キャリア形成・人財育成支援
那須町	尾崎 真弥	ふるさと納税の推進

活動内容

・イベント開催 R8.1.12

「TOCHIOKO TE to TE MARKET～地域おこし協力隊って何？～」

地域おこし協力隊のPRや認知度向上を目的に、昨年度に引き続きイベントを開催しました！

場所：栃木県庁県民広場

内容：県内9市町12ブース出展・協力隊謎解きゲーム・協力隊紹介動画・とちキャラクターズグリーティング・餅つき体験

成果・反省

<成果>

- ・大きな事故やトラブルもなく、来場者が昨年度よりも多かった。
- ・協力隊謎解きゲームが好評であり、協力隊の認知度向上に効果的だった。とちキャラクターズの集客力も高かった。

<反省・次年度に向けた検討>

- ・ブース内容として、飲食物の売り切れが早かったことや、もっと体験型コンテンツがあると良かった。
- ・協力隊紹介動画の設置場所の見直しや餅つきの整理券配布など、細かな部分の調整が必要。
- ・このイベントをベースに、チャレンジ精神で継続していくことを期待したい。



04 情報共有ツール

目的

目的

- ・グループ間の情報共有の促進
- ・協力隊活動のそれぞれのノウハウの蓄積
- ・オンライン上での交流施策

メンバー

佐野市	城石 泰宏	天明鋳物
那須烏山市	大嶋 英治	なすからブランド推進
那須町	上原 淳	現場伴走型キャリア形成・人財育成支援
那須町	尾崎 真弥	ふるさと納税の推進

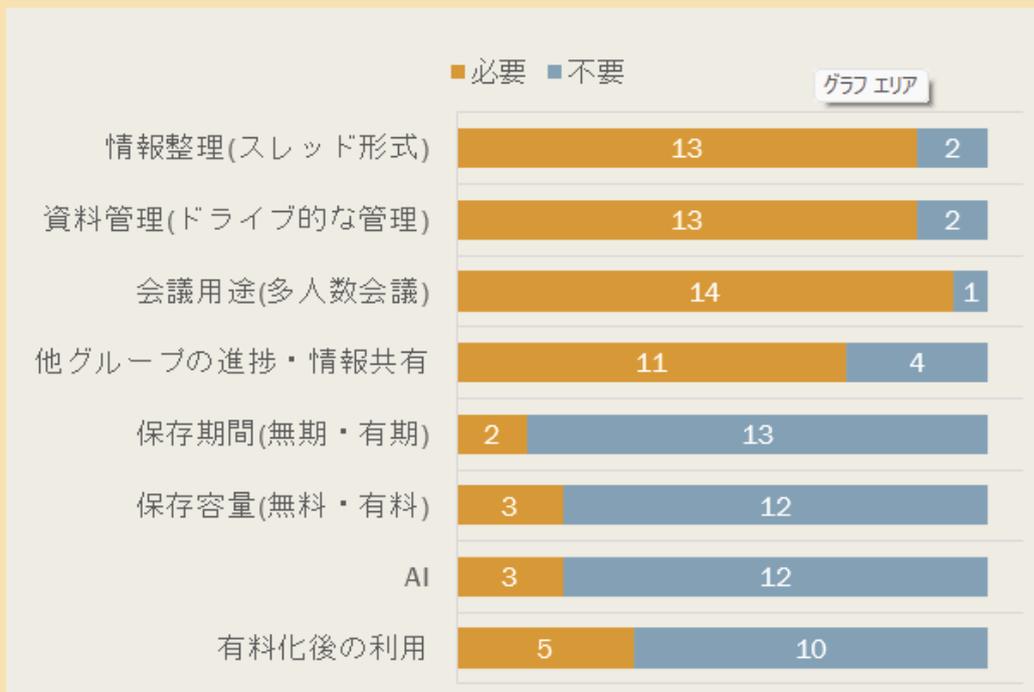
活動内容

・情報共有ツールアンケートの実施

今年度からSlackを本格運用している中で、情報共有ツールに対するニーズの把握のため、利用者アンケートを行いました！

内容：利用者が必要とする昨日の確認・今後のツール検討や見直しに向けた利用ニーズの確認

アンケート結果



成果・反省

<成果>

- ・利用者目線だとSlackは使いづらいという意見が多かったが、他候補のツールのLINEWORKSの場合は制限が多く、使用不可という結論となった。

<反省・次年度に向けた検討>

- ・Slackの利用を前提として利用者に向けた勉強会の実施や、マニュアルの作成・配布などを行っていききたい。



05 移住定住・空き家

目的

目的

- ・ 隊員同士の情報交換や県内外の先進地視察、イベント実施等により、各市町への移住促進や空き家活用等につなげる

メンバー



日光市	沼田 英治	移住定住促進業務
日光市	長谷川 久乃	森林促進業務・木材利用促進
矢板市	坂和 紀明	移住定住の促進、交流人口創出
野木町	鮫ノ口 いくみ	移住定住・空き家の利活用
那須町	伊東 可奈	空き家対策・活用促進、移住支援
那須町	七宮 颯生	公有財産利活用・売払い
那須町	鈴木 葉大	空き家の掘り起こし、空き家バンク運営推進

活動内容

<オンライン交流会>R7.9.18

空き家活用に関する先進的な取組について事例を聞く事で知見を深め、活動に活かすことを目的にオンライン交流会を行いました！

内容：長野県中野市協力隊経験者 村井氏による活動紹介
村井氏との意見交換を含めたワークショップ

参加：隊員10名

＜視察研修会＞ R7.10.14-15

移住定住や空き家業務の先進地を視察し、知見を深めて自身の活動へフィードバックし、活動の充実を図ることを目的に、視察研修会を行いました！

内容：群馬県中之条町移住定住コーディネーター 村上氏による空き家活用事例の紹介・フィールドワーク・事例紹介を踏まえたアクションプランづくり

参加：隊員8名

＜研修会＞ R8.1.30

退任後の活動や関係性構築に向けたノウハウの習得を目的にミッションから生業づくりにつなげる研修会を行いました！

内容：那須町協力隊経験者 木下氏によるこれまでの経験を活かした生業づくりにおける講義・退任後を考えるワークショップ

参加：隊員3名



成果・反省

＜成果＞

- ・視察を通して、地域の中と外を繋ぐツールがあることで移住や空き家活用につながるという気づきがあった。
- ・空き家問題の改善に寄与するような事例を学ぶことで、活動に対する意欲が高まった。

＜反省・次年度に向けた検討＞

- ・ふるさと回帰センターを活用した合同移住相談会
- ・空き家等の視察

06 農林業

目的

目的

- ・ 隊員同士の情報交換や先進地視察により、課題の共有・解決、ミッションへのフィードバックにつなげる。
- ・ 隊員同士で仲を深め、退任後も協力し合える関係を築く。

メンバー

日光市	加藤 葵	観光振興・誘客宣伝に関わる業務
矢板市	佐川 一郎	林業振興
さくら市	永谷 嘉規	就農・農業振興
さくら市	八木 孝	農業研修及び農業PR
さくら市	石田 友瑞	農業×子育て移住
さくら市	釜口 愛望	農業×子育て移住
塩谷町	齋藤 亮賢	スプレーマム農業研修
塩谷町	廣井 大輔	スプレーマム農業研修
塩谷町	畑福 奈美	有機農業新規就農研修
塩谷町	鈴木 彰	有機農業新規就農研修
那珂川町	大倉 由紀子	林業振興に関する業務

活動内容

<勉強会> 全3回

農業に関する制度理解やスキル習得を目的として、外部講師による勉強会を行いました！

内容：就農制度・6次化・SNS等情報発信に関する勉強会

参加：各回隊員10名

<視察研修会>

農業に関する知見を深めるため、実際の農業現場の視察を行うとともに、有識者にお話を伺いました！

・宇都宮市、茂木町視察 R7.11.25

内容：若山農場での竹材活用・クレオールでの有機栽培・ナチュラルフード森の扉での農業体験等の取組紹介

参加：隊員11名

・茨城県視察 R8.1.19

内容：HATAKEカンパニー・ユニオンファームにて有機野菜の栽培及び梱包・出荷に関わる取組紹介

<とちまるショップ出店> R7.12.3

消費者との交流機会創出やノウハウ習得のため、東京ソラマチ内の「とちまるショップ」にて農産物の販売やPRを行いました！

内容：現役隊員及び経験者が生産する農産物や加工品の販売

・試食や農産物のPR

参加：隊員3名、経験者2名



成果・反省

<成果>

- ・講師を招いての勉強会を実施したことで、勉強会内容への理解と知識が深まった。

<反省・次年度に向けた検討>

- ・メンバー内での目指す方向性が個々で異なるため、全員に適して満足できるような勉強会を提供することは困難だった。
- ・次年度に向けて、スマート農業の視察や圃場での体験作業、視察先を一カ所に絞ったワークショップなどを行いたい。



07 観光・シティプロモーション

目的

- ・各隊員のまちの魅力を効果的にPRするための、具体案を探る

メンバー

佐野市	砂子間 仁実	インバウンド観光の推進
日光市	加藤 葵	観光振興・誘客宣伝に関わる業務
矢板市	坂和 紀明	移住定住の促進、交流人口創出
矢板市	福田 麗	ふるさと支援センターTAKIBIの運営
那須塩原市	渥美 瞳	スポーツツーリズム推進
さくら市	住谷 貴之	道の駅きつれがわを中心としたまちおこし
さくら市	甘糟 里奈	観光×インフルエンサー
さくら市	齊藤 遥	観光×インフルエンサー
那珂川町	吉田 夏希	観光協会と連携した業務

活動内容

<研修会>

各メンバーの所属する地域の魅力を効果的にPRするため、益子町経験者の六本木氏をファシリテーターに置き、研修会やアウトプット会を行いました！

- ・ **第1回 R7.8.28**
 内容：各メンバーの活動の現状共有、意見交換、「目的・戦略」の整理方法についての講義
 参加：隊員6名
- ・ **第2回 R7.10.20**
 内容：活動の目的や成果指標の整理についての講義・今後アクションプランづくりワークショップ
 参加：隊員6名
- ・ **第3回 R7.11.12**
 内容：第2回研修会で作成したアクションプランの実践結果の発表・アウトプット
 参加：隊員6名
- ・ **第4回 R7.12.15**
 内容：活動におけるAI活用方法についての講義・実践ワークショップ
 参加：隊員7名
- ・ **第5回 R8.1.22**
 内容：第4回研修を踏まえて活動でのAI活用についての発表・アウトプット
 参加：隊員5名

成果・反省

<成果>

- ・ まちの魅力とミッションを結びつける研修会の実施により、活動整理や方向性検討を行うことができる内容となった。
- ・ 研修会の実施だけでなく、実際の活動に落とし込むアウトプットの企画があったことで効果的な研修となった。

<反省・次年度に向けた検討>

- ・ 観光という共通はあるものの活動内容の幅が広く、共通テーマの設計が難しかった。
- ・ 当初考えていたPRのための具体案の発表まで至らなかったため、次年度検討していきたい。

